

## 平成24年度第5回青梅市協働事業市民推進委員会概要

平成25年2月14日  
本庁舎5階 503会議室  
14:00～16:05

欠：横手委員、岩田委員

### 1 報告事項

(1) 平成25年度市民提案協働事業の応募状況について(資料1)  
事務局から報告

- ・6事業の提案があった。

(質疑応答)

- ・委員：段ボールコンポストについて、作ったことがあるが段ボールの確保および堆肥の利用が難しい。また、飽きずに続けることが大変。
- ・委員：継続事業なのか。
- ・事務局：そうである。内容を発展させたものである。
- ・委員：堆肥を作る人と使う人をいかにマッチングさせるかが大切。
- ・事務局：前年度は8事業の提案があった。
- ・委員長：あとは、今回の意見をふまえて審査委員会で審議をお願いしたい。
- ・事務局：第1次審査の日程はまだ調整中である。第2次審査は3月17日に実施する。

### 2 協議事項

(1) 平成23年度実施協働事業の評価について(前回配布資料)  
事務局から説明

委員長：気になったところから事業を取り上げていきたい。

全体をとおして

- ・協働相手の評価がない事業がある。  
事業の確認や振返りのために評価をすべき。事業実施団体だけでなく、事業の受益者の声も聞ければなお良い。
- ・既存事業をそのまま続けている事業がある。  
長い歴史のある協働事業を、もう一度協働の観点から見直すべきである。

- ・子育てに関する協働事業が多い。  
その分野で協働が上手く行っているとも言える。
- ・高齢者に関する事業が少ない。
- ・市民センターの運営協議会等事業に参加している人達が協働の意識を持っているのかが疑問。
- ・協働の定義（委員会や委託も協働の形態の一つとしてある等）の周知が足りないのでは。これは協働か、とも思うものがある。事業を実施している中で協働の話が出たことがない。
  - ・各課の協働推進員に対する研修を継続すべきである。
  - ・一般の人に対する協働の研修も継続すべきである。
  - ・まちづくりの意識（自分のまちは自分でつくる）啓発が必要である。

#### 個別事業について

- ・環境巡視活動についてお金を渡して丸投げになっているとしたら良くない。  
お互いに効果的な方法についての話し合いや事業の振返りを実施すべきである。

#### 評価シートについて

- ・単年度事業なのか継続事業なのか分からないので、この項目を追加してほしい。

#### その他

- ・指定管理は協働事業なのか疑問。 今後の協議事項。

### 3 その他

- ・委員会の任期は今年度いっぱいである。広報おうめ3月1日号で公募委員の周知を行う。

- 閉会 -

次回は最終回。3月28日（木）午後2時から4時